

令和6年度第1回 士別市地域公共交通活性化協議会 議案

日時：令和6(2024)年6月26日 午前10時から
場所：士別市議会議場

1. 開 会

2. 挨拶

3. 委員紹介

令和6年度士別市地域公共交通活性化協議会 委員名簿【資料1】

4. 役員の指名

5. 報告事項

(1) 令和5年度 事業報告および決算報告について【資料2, 3】

(2) 令和5年度 会計監査報告について【資料4】

(3) 路線バス「朝日線」の減便について【資料5】

6. 協議事項

(1) 令和6年度 事業計画(案)および予算(案)について【資料6, 7】

7. その他

8. 閉 会

士別市地域公共交通活性化協議会 委員名簿

資料 1

会 長 士別市副市長 法邑 和浩
 副会長 士別市朝日地区自治会連絡協議会 会長 大岡 正喜
 監査員 社会福祉法人士別市社会福祉協議会 事務局長 鴻野 弘志
 監査員 士別商工会議所 事務局次長 高橋 意治
 任 期 令和6(2024)年4月1日から令和7(2025)年3月31日まで

所属	役職	氏名	選出区分	新任
士別市中央地区自治会連絡協議会	会長	佐藤 良雄	住民又は利用者の代表	
士別市上士別地区自治会連絡協議会	会長	上家 栄二	〃	
士別市多寄地区自治会連絡協議会	会長	酒田 賢一	〃	○
士別市温根別地区自治会連絡協議会	会長	宍戸 泰之	〃	○
士別市朝日地区自治会連絡協議会	会長	大岡 正喜	〃	
社会福祉法人士別市社会福祉協議会	事務局長	鴻野 弘志	〃	○
士別商工会議所	事務局次長	高橋 意治	〃	○
士別市PTA連合会	副会長	西川 剛	〃	○
北海道士別翔雲高等学校	教頭	鳥毛 浩二	〃	
道北バス株式会社	営業部次長	岡田 倫和	一般乗合旅客自動車運送事業者	
士別軌道株式会社	取締役 経営管理部長	大内 紀幸	一般乗合旅客自動車運送事業者	
上川北部ハイヤー協会士別支部	支部長	佐藤 元信	一般貸切(乗用)旅客自動車運送事業者	
北海道旅客鉄道株式会社士別駅	駅長	藤田 和貴	鉄道事業者	○
私鉄総連北海道地方労働組合 士別軌道支部	執行委員長	伊藤 直寛	事業用自動車の運転者が組織する団体	
北海道運輸局旭川運輸支局	主席運輸企画 専門官	宮崎 嘉夫	旭川運輸支局長が指名する者	○
上川総合振興局地域創生部 地域政策課	課長	天崎 崇行	上川総合振興局長が指名する者	○
北海道開発局旭川開発建設部 士別道路事務所	所長	武田 祐輔	旭川開発建設部士別道路事務所長が指名する者	○
上川総合振興局旭川建設管理部 士別出張所	所長	高橋 明裕	旭川建設管理部士別出張所長が指名する者	
士別市役所	副市長	法邑 和浩	士別市長が指名する者	

※地域公共交通の活性化及び再生に関する法律及び道路運送法の規定に基づき、設置されている。

オブザーバー

所属	役職	氏名	備考
次世代モビリティ推進会議	議長	岸 邦宏	北海道大学大学院工学研究院教授

令和 5 年度士別市地域公共交通活性化協議会 事業報告

1. 公共交通利用促進・意識醸成事業

①さほっちタクシー事業

●内容

観光施設への乗合タクシー事業として「道の駅～士別駅～士別 inn 翠月～羊と雲の丘」を結ぶ運行、及び区間内を1日中乗り放題として利用できる「1日周遊パスポート」を実施した。

●実施期間

令和 5(2023)年 4 月 1 日～令和 6(2024)年 3 月 31 日

●乗車実績

令和5年度

	乗車人数 (人)		
	往路乗車数	復路乗車数	乗車数合計
4月	0	1	1
5月	5	6	11
6月	9	12	21
7月	15	19	34
8月	27	27	54
9月	21	26	47
10月	5	5	10
11月	13	13	26
12月	1	1	2
1月	0	0	0
2月	10	10	20
3月	3	3	6
合計	109	123	232
平均	9.1	10.3	19.3

令和4年度

	乗車人数 (人)		
	往路乗車数	復路乗車数	乗車数合計
4月	0	0	0
5月	5	7	12
6月	6	8	14
7月	9	10	19
8月	14	11	25
9月	5	10	15
10月	10	10	20
11月	4	4	8
12月	5	5	10
1月	3	3	6
2月	2	2	4
3月	4	3	7
合計	67	73	140
平均	5.6	6.1	11.7

- ・令和 4 年度と比較して、延べ乗車数で 92 名増加している。
- ・要因としては、新型コロナウイルスの影響で減少していたイベントの開催や観光需要が一定程度復活したことにより、利用者が増加したものであると考えられる。

②バス啓発マグネット作成

●内容

市内路線バス（士別軌道株式会社）の利用促進を図るため、士別翔雲高校総合ビジネス科3年生（男子4名、女子2名）が「バスに乗りたくなるような」マグネットのデザイン・啓発動画の作成を行った。

●作成期間

令和5(2023)年8月～令和6(2024)年1月

●対象路線バス

市内外回り線（通年）、わくわく買い物線（12月～3月）

デザインは下記のとおりで、動画はデザイン内のQRコードにて読み取り可能。



③バスステッカーイラストコンテスト

●内容

「合宿の里士別」という士別市の個性を生かし、「MY FAVORITE SPORT ～わたしのだいすきなスポーツ～」をテーマとしてスポーツに関するイラストを市内小中学生に作成してもらい、そのイラストを株式会社士別ハイヤーが所有するバスにステッカーとして貼り付けすることにより、公共交通の利用促進・意識啓発を図った。

●募集期間

令和5(2023)年11月～12月

●イラスト選定

最優秀賞：1点 優秀賞：2点 審査員特別賞：3点

上記6点を表彰対象とし士別市の特産品等を贈呈した。またその他9点イラスト選定し、表彰作品と大きさを変えバスに貼り付けを行った。



【最優秀賞】



【優秀賞】



【審査員特別賞】



2. 次世代モビリティ推進会議

①習い事応援タクシー実証実験

●内容

共働き世帯の増加による「習い事の送迎」にかかる負担軽減策としての効果を検証するため、タクシーによる送迎事業を実施した。

●運行期間

令和5(2023)年7月15日～令和6(2024)年3月31日

●利用料金

・1乗車当たりの利用

市街地：300円 朝日地区：2,000円（令和6(2024)年1月1日より1,000円に変更）

上士別・多寄・温根別地区：1,000円

・サブスクリプション（10回分の金額で1ヶ月乗り放題）

市街地：3,000円 朝日地区：20,000円 上士別・多寄・温根別地区：10,000円

・兄弟割引（乗降場所が完全一致する場合に限る サブスクリプション対象外）

第2子目：半額 第3子目以降：無料

・士別市スポーツ協会の支援により、スポーツに関する習い事の送迎1回にあたり100円の料金の軽減を行う。（サブスクリプション対象外）

●利用実績

・延べ登録児童数：55名

・延べ運行回数：345回

・延べ利用人数：732人（市街地：678人、上士別：44人、朝日：10人）

・平均乗車人数：2.12人

・サブスクリプション延べ利用回数：2回（上士別）

・スポーツ割延べ利用回数：573回

3. 協議会報告・審議事項

①路線バス「中多寄スクール線」の時間変更

士別翔雲高校生のバス利用促進を図るため、冬季期間（11月～3月）の時刻を最終便のみ15分繰り下げた。

②路線バス「朝日線」の一部デマンド化

経費削減・効率化を図るため、平日最終便を令和5年11月1日からデマンド化した。

③路線バス「わくわく買い物線」の運行期間の短縮・減便

路線収支の改善を図るため、運行期間を11月～4月の6ヶ月から12月～3月の4ヶ月に短縮し、最終便を減便した。

令和5年度 士別市地域公共交通活性化協議会 決算書

◎ 収入の部

(単位：円)

項目	予算額	決算額	増減	備考
市負担金	910,000	910,000	0	協議会運営費：60,000円 事業費：350,000円 次世代モビリティ推進会議：500,000円
繰越金	72,908	72,908	0	
雑収入	128,092	977,033	848,941	預金利息：7円 R4バス・タクシー共通チケット売上：127,900円 習い事応援タクシー国補助金：849,126円
合計	1,111,000	1,959,941	848,941	

◎ 支出の部

(単位：円)

項目	予算額	決算額	増減	備考
協議会運営費	60,000	43,259	▲ 16,741	
報酬	35,000	24,240	▲ 10,760	協議会委員報酬
費用弁償	10,000	7,325	▲ 2,675	協議会委員費用弁償
事務費	15,000	11,694	▲ 3,306	振込手数料 報酬源泉徴収税
網形成計画に基づく事業費	551,000	282,167	▲ 268,833	
さほっちタクシー事業	150,000	151,050	1,050	運行負担額
公共交通利用促進事業	401,000	131,117	▲ 269,883	バス啓発マグネット事業費 バスステッカーコンテスト事業費
次世代モビリティ推進会議	500,000	1,497,340	997,340	R4バス・タクシー共通チケット：47,100円 習い事応援タクシー実証実験：1,450,240円
合計	1,111,000	1,822,766	711,766	

収入決算額：1,959,941円 － 支出決算額：1,822,766円 ＝ 137,175円（次年度繰越）

監査報告書

士別市地域公共交通活性化協議会規約第9条第2項の規定により、協議会の令和5年度会計監査を令和6(2024)年6月12日に行い、関係証拠書類等について照合した結果、その取扱いは適正であり、出納並びに現金の保管についても適正であることを認める。

令和6(2024)年6月26日

士別市地域公共交通活性化協議会

監査員 鴻野弘志



高橋意治



路線バス「朝日線」の減便について

資料5

【運行事業所：士別軌道株式会社】

現行

【平日】

士別発	中士別	上士別	朝日着	朝日発	上士別	中士別	士別着
				7:25	7:40	7:47	8:05
7:35	7:45	7:53	8:05	8:05	8:15	8:22	8:35
8:40	8:50	9:00	9:10	9:20	9:30	9:37	9:50
12:00	12:10	12:20	12:30	12:40	12:50	12:57	13:10
15:30	15:40	15:50	16:00	16:10	16:20	16:27	16:40
17:00	17:10	17:20	17:30	17:40	17:50	17:57	18:10
19:00	19:10	19:20	19:30	19:35	19:45	19:52	20:05

※士別発19:00 朝日発19:35はデマンド運行です。

【土・日・祝日】

士別発	中士別	上士別	朝日着	朝日発	上士別	中士別	士別着
				7:25	7:40	7:47	8:05
8:40	8:50	9:00	9:10	9:20	9:30	9:37	9:50
12:00	12:10	12:20	12:30	12:40	12:50	12:57	13:10
15:30	15:40	15:50	16:00	16:10	16:20	16:27	16:40
17:00	17:10	17:20	17:30	17:40	17:50	17:57	18:10

減便後

【平日】

士別発	中士別	上士別	朝日着	朝日発	上士別	中士別	士別着
				7:25	7:40	7:47	8:05
7:35	7:45	7:53	8:05	8:05	8:15	8:22	8:35
8:40	8:50	9:00	9:10	9:20	9:30	9:37	9:50
12:00	12:10	12:20	12:30	12:40	12:50	12:57	13:10
15:30	15:40	15:50	16:00	16:10	16:20	16:27	16:40
18:00	18:10	18:20	18:30	18:40	18:50	18:57	19:10

※デマンド便はなくなります。

【土・日・祝日】

士別発	中士別	上士別	朝日着	朝日発	上士別	中士別	士別着
8:40	8:50	9:00	9:10	9:20	9:30	9:37	9:50
12:00	12:10	12:20	12:30	12:40	12:50	12:57	13:10
15:30	15:40	15:50	16:00	16:10	16:20	16:27	16:40

- 減便日：令和6(2024)年10月1日から
- 路線バス「朝日線」に関して、年々利用者の減少により収支が著しく悪化しており、令和5年度の営業赤字は21,522千円、1便当たりの運行経費は7,622円、往復で15,244円となっています。
- 路線の収支改善・効率化を図るため、令和5年11月からの乗降調査により1便当たりの乗車数が1.0人を下回っている便について、上記のとおり減便を行うこととなりました。
- 今後も乗降調査については継続して実施し、乗車数や経常収支を分析しながら路線としての収支改善、効率化を検討していくこととなります。

令和 6 年度士別市地域公共交通活性化協議会 事業計画（案）

1. さほっちタクシー事業

- 観光施設への乗合タクシー事業として「道の駅～士別駅～士別 inn 翠月～羊と雲の丘」を結ぶ運行、及び区間内を 1 日中乗り放題として利用できる「1 日周遊パスポート」を実施する。
- 実施期間：令和 6(2024)年 4 月 1 日～令和 7(2025)年 3 月 31 日
- 本事業については、本市の観光拠点施設への公共交通利用促進及び利用状況調査のため、平成 24(2012)年 8 月から実施しているところであるが、事業開始から 12 年経過していることから利用状況等を分析し、本事業のあり方について今年度検討する。

2. 公共交通利用促進・意識啓発事業

- 実施内容については各交通事業所と協議し決定する。

3. 利便性の高い公共交通機関の検討

- 各路線について、より利便性の高い公共交通機関となるよう引き続き議論する。
- 今年度についてはバス路線・JR の乗降調査等を行い、利用実態や性質を把握し路線の検証を行う。

4. 次世代モビリティ推進会議

- バス路線「わくわく買い物線」について、冬期間の買い物利用の観点から、利便性の向上・効率化を図るため路線の運行方法を議論する。
- 「習い事応援タクシー」について、令和 7 年度からの事業化に向け検討するため、実証実験及び制度設計を行う。
実証実験については、国補助金「共創モデル実証運行事業」の交付決定がなされたことから、令和 6(2024)年 4 月 1 日から令和 7(2025)年 2 月 14 日までの実施期間で実施する。

わくわく買い物線 運行開始

【運行期間】

12月1日～3月31日



【士別駅発車時刻】 ※赤字は土・日・祝日運休です。

8:50、9:50、10:50、11:50、12:50

13:50、14:50、15:50

【停留所】

士別駅前	大通6	西2-6	西栄団地	西4北1	西3-1	西3-3	西3-5	西3-8	西3-10	士別駅前	西1-8	東2-8	東4-8	東7-8	東丘2	市立病院	桜丘
(50)	(52)	(53)	(54)	(55)	(56)	(57)	(58)	(59)	(00)	(01)	(02)	(04)	(04)	(05)	(06)	(07)	(08)
大通18	西條前	南小学校	東2-9	東2-7	道の駅	大通3	大通1	大通北3	大通北6	東3北6	東4北6	東6北6	水郷公園	小学校前	神社前	市役所前	東4-5
(30)	(27)	(25)	(24)	(23)	(21)	(20)	(19)	(18)	(17)	(16)	(15)	(14)	(13)	(12)	(11)	(10)	(09)
大通20	西4-17	サウスタウン	大通15	大通13	大通9	大通9	西1-9	士別駅前									
(32)	(34)	(36)	(37)	(38)	(39)	(40)											

()内の数字は各停留所の通過時刻です。
各時とも同じ分(道の駅であれば21分)にバスが通過します。

スマホでバスをもっと便利に。
バスロケーションサービス
スマートフォンを活用して、バスの現在位置や運行遅れの情報、接近情報がわかります。

対象路線
市内3路線

- ★外回り循環線
- ★わくわく買い物線
- ★朝日線

【オススメの使い方】
しべつ暮らしナビから
アクセス



↑ ios 版
Android 版 ↓



運行期間 R6年4月1日(月)～R7年2月14日(金)

R7年2月後半からは未定となっております

習い事応援タクシー実証実験

士別市内で習い事(少年団含む)をする士別市在住すべての小中学生対象

※小中学生のきょうだいと同乗できる場合未就学児も可

利用登録

利用登録期間

随時受付中!

公式LINEに追加し
必要情報を送信して
ください

※昨年度登録されている場合
も再度登録が必要です

運行区間

士別市小中学校
児童館、自宅(※)



習い事施設

※6時間授業で16時開始の習い事は学
校・児童館迎えのみ(自宅迎え不可)

運行時間

曜日

運行時間

16:00～19:30

に開始する習い事

運行時間

運行期間中の平日

※土日祝日は運行しませんの
でご注意ください

利用料金

	市街地	多寄・温根別・上士別・朝日
1回あたり 乗車時現金払い	300円	1,000円

(/人)

割引

きょうだい割	乗車時刻・乗降地点が一致し、同時に乗車するきょうだいに限り 第2子目:半額 第3子目以降:無料
スポーツ割 きょうだい割併用可 回数上限50回/人	士別市スポーツ協会支援によりスポーツに関する習い事において <ul style="list-style-type: none"> ■ 市街地から市街地の移動:送迎1回につき100円割引 ■ 郊外地域から市街地の移動:送迎1回につき500円割引 ■ 郊外地域から郊外地域の移動:送迎1回につき500円割引 ※市街地から郊外地域への移動はお問合せください

登録手順

1
2

公式LINE
追加

士別ハイヤーの公式LINEを追加し、メッセージ
欄から利用者情報を送信してください

公式LINE



予約アプリ
インストール

利用者登録完了後、公式LINEより予約アプリのご案内
を致しますのでインストールをお願いします



公式LINE登録・利用者名送信後は担当者と直接やり取りすることが可能です。
不明点は公式LINEメッセージからお問い合わせください。

※公式LINE対応時間 平日16:00～19:30

習い事応援タクシーは乗合タクシーの為、ご希望に添えない場合もございます。

地域の多様な関係者の「共創」により地域交通の維持・活性化に取り組む実証プロジェクト等を支援します！

1. 共創モデル実証運行事業

※運行（次年度に運行する場合や既存運行を活用する場合を含む）を伴う実証事業が対象となります。
運行の交通モード（鉄道・路線バス・デマンド交通・自家用有償旅客運送・タクシー・航路など）は問いません。

交通を地域のくらしと一体として捉え、地域の多様な関係者の「共創」(連携・協働)*によりその維持・活性化に取り組む実証事業

【補助対象事業者】 **交通事業者等を含む**複数の共創主体で構成される協議会や連携スキーム等
（「共創プラットフォーム」）

【補助対象経費】

- ・事業実施のための基礎データ収集・分析、協議会開催に要する経費等
- ・事業実施にあたり必要となるシステム構築、車両購入・改造に要する経費
- ・実証事業に要する経費

※「官民共創」、「交通事業者間共創」、
「他分野共創(交通と他分野の垣根を越えた連携)」



＜補助率＞ **地域の類型に応じて、メリハリをつけた支援を展開します！**（補助上限額：1億円）

A 中小都市、過疎地など 【人口10万人未満の自治体】	B 地方中心都市など 【人口10万人以上の自治体】	C 大都市など 【東京23区・三大都市圏の政令指定都市】
500万円以下は 定額 500万円超部分は 2 / 3	補助率 2 / 3	補助率 1 / 2

2. モビリティ人材育成事業

地域公共交通のリ・デザインを推進するため、モビリティ人材（交通に関する知見・データ活用のノウハウ・コーディネートスキル等を有する人材）の育成に関する仕組みの構築や運営を行う事業

【補助対象事業者】 地域における交通やまちづくりに取り組む人材の育成を行う、**都道府県・市町村・交通関係団体・まちづくり団体等の民間事業者・NPO法人等**

【補助対象経費】 地域交通分野におけるモビリティ人材の育成に関する取組実施経費

【補助率・上限額】 定額（上限3千万円）

上記1及び2の応募にあたっては、
実施地域の自治体等から推薦を得ていることを要件とします。

※「日本版MaaS推進・支援事業」については、令和6年4月以降に別途公募します。

募集期間
(1次公募) **令和6年2月27日～4月5日16:00**
※4月下旬以降、2次公募を予定

問合せ先
事務局（パシフィックコンサルタンツ株式会社）
各地方運輸局交通政策部交通企画課 等

応募方法の詳細・**問合せ先**は**特設ウェブサイト**へ！

採択審査のポイント等は「**公募要領**」をご確認ください。

【URL】 <https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/kyousou/>

地域交通 共創

検索

令和6年度 士別市地域公共交通活性化協議会 予算書 (案)

◎ 収入の部

(単位：円)

項目	R5予算額	R6予算額	増減	備考
市負担金	910,000	1,125,000	215,000	協議会運営費：75,000円 事業費：400,000円 次世代モビリティ推進会議：650,000円
繰越金	72,908	137,175	64,267	
諸収入	128,092	3,550,825	3,422,733	預金利息等：825円 習い事応援タクシー国補助金：3,550,000円
合計	1,111,000	4,813,000	3,702,000	

◎ 支出の部

(単位：円)

項目	R5予算額	R6予算額	増減	備考
協議会運営費	60,000	75,000	15,000	
報酬	35,000	45,000	10,000	協議会委員報酬
費用弁償	10,000	10,000	0	協議会委員費用弁償
事務費	15,000	20,000	5,000	振込手数料 報酬源泉徴収税
網形成計画に基づく事業費	551,000	538,000	▲ 13,000	
さほっちタクシー事業	150,000	150,000	0	運行負担額
公共交通利用検証事業	0	100,000	100,000	乗降調査等費用
公共交通利用促進事業	401,000	288,000	▲ 113,000	
次世代モビリティ推進会議	500,000	4,200,000	3,700,000	議長謝礼 習い事応援タクシー実証実験
合計	1,111,000	4,813,000	3,702,000	